

まちづくり交付金 事後評価シート

栄本町地区

平成22年3月

大阪府池田市

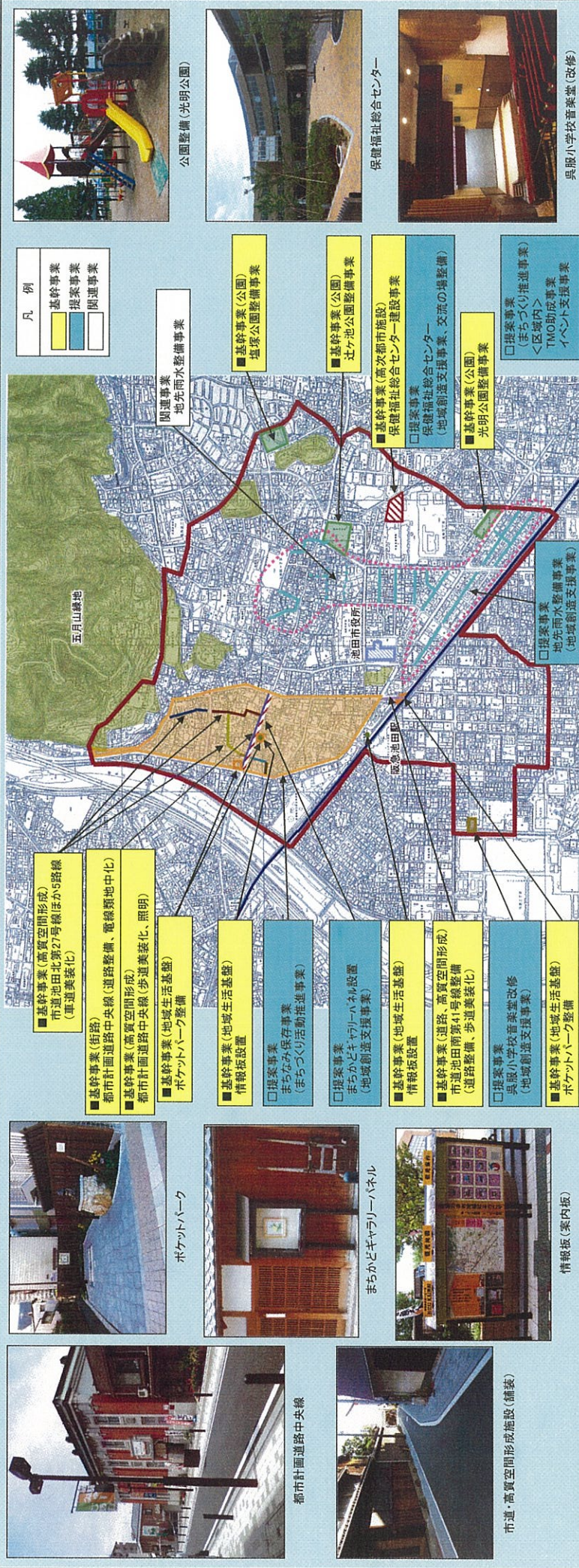
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	池田市	地区名	栄本町地区	面積	149ha			
交付期間	平成17～21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	3165百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名 ○道路(都市計画道路中央線) ○地域生活基盤施設(ポケットパーク、情報坂) ○高質空間形成施設(市道池田北第27号線ほか、舗装) ○まちづくり活動推進事業(まちなみ保存事業、TMO助成事業)								
	当初計画から削除した事業	事業名 ○道路(市道池田北第32号)								
	基幹事業	事業項目の適正化のため(高質空間形成施設として実施) 事業項目変更のため影響なし								
	提案事業	なし								
	提案事業	道路及び高質空間形成施設: 歩行者空間の安全性・快適性等の一層の向上を図るために追加 公園: 新たな追加した目標と関連して、子育て支援の一環として、子供が利用しやすいように、また、子育て世代の情報交換の場を提供するために追加 高次都市施設(仮)保健福祉総合センター: 新たに追加した目標 高次都市施設(仮)保健福祉総合センターとして追加 (仮)保健福祉総合センター: 新たに追加した目標に関連して、地域福祉を推進する市民の交流の場とするために追加 地先雨水整備事業: 新たに追加した目標に関連する主要な事業として追加 まちかどギャラリー・パノール設置事業: 文化・芸術性のあるまちなみを創出し、まちを歩く魅力向上を図るために追加 イベント支援事業: 地域の歴史・文化を活かしたまちづくり活動推進のために追加								
2) 都市再生整備計画(当初設定した数値を定量化する指標)の達成状況	当初計画から変更	平成17～20年度 平成17～21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	指標	数値	達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	通りの歩行者数	単位: 人/日	従前年度: 4,630 基準年度: H15	目標年度: 5,310 実績年度: H21	3,947	△	あり なし	買物行動等の変化が強く数値目標は未達成であるが、歩行者空間ネットワーク整備等のまちづくり効果が現れ、減少傾向に修正めをかけた	H22年6月頃
	指標2	まちの満足度	単位: %	従前年度: 14.0 基準年度: H10	目標年度: 30.0 実績年度: H21	53.0	○	あり なし	道路と高質空間形成施設整備により、歩行者空間の安全性・快適性等が評価された	H22年5月頃
	指標3	福祉施設の利用者数	単位: 人/年	従前年度: 37,000 基準年度: H16	目標年度: 50,000 実績年度: H21	69,600	○	あり なし	保健福祉サービスの拠点整備・充実と歩行者空間ネットワーク整備等のまちづくりの相乗効果が利用者数の大きな増加につながった	H22年4月頃
	指標4	雨水排除能力	単位: m/sec	従前年度: 1.7 基準年度: H18	目標年度: 4.3 実績年度: H21	4.3	○	あり なし	雨水対策の必要性が高まり重点箇所について、計画どおりに事業が行われることにより、必要な流量が確保される	H22年4月頃
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	阪急池田駅の乗降客数	単位: 人/日(年平均)	従前年度: 53,964 基準年度: H16	目標年度: 55,500 実績年度: H21	55,500	達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	歩行者空間整備、まちの活性化の取組み、集客(文化)施設の充実などの効果により、乗降客数は減少から増加に転じている。								
4) 定性的な効果発現状況	指標	交付金事業によるまちづくりの実施を契機とし、TMO助成事業による支援を受けたまちづくり会社の取組みが形成され、連携した商店街活性化の活動が定着・拡大してきている。								
	指標	子育て支援、健康増進・介護予防などの拠点となる保健福祉総合センターが整備され、日曜日も開館していることから、父親の来館者も多く、今後、父親同士の子育ての情報交換やネットワーク形成が期待される。								
5) 実施過程の評価	モニタリング	なし	実施状況 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載しなかったが、実施できなかった 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							今後の対応方針等
	住民参加プロセス	まちづくり協議会において、都市計画道路中央線沿線の道路整備及び高質空間形成等に関して協議・調整を行った。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載しなかったが、実施できなかった 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					・まちづくり協議会は解散したが、中央線整備やそれに伴い立地した文化施設等を生かして、まちづくりを商店街と地域主体で進めていくよう継続的に働きかけていきたい。 ・活動の基盤が整ったので、今後はまちづくり会社や商店街等により、一層の主体的な活動の働きかけをし、市は必要なる支援を行っている。	
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり交付金のTMO助成事業を活用することにより、既存のまちづくり会社は新規事業が可能となるなど機能強化が図られた。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載しなかったが、実施できなかった 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					・活動の基盤が整ったので、今後はまちづくり会社や商店街等により、一層の主体的な活動の働きかけをし、市は必要なる支援を行っている。	
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり交付金のTMO助成事業を活用することにより、既存のまちづくり会社は新規事業が可能となるなど機能強化が図られた。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載しなかったが、実施できなかった 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					・活動の基盤が整ったので、今後はまちづくり会社や商店街等により、一層の主体的な活動の働きかけをし、市は必要なる支援を行っている。	

様式2-2 地区の概要

栄本町地区(大阪府池田市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標				従前値		目標値		評価値	
	通りの歩行者数	単位:	人/日		H 15		H 21		H 21	
歩いて歴史と文化を感じるまちづくり ① 歴史的・文化的遺産を活かし、生活文化が体験できる街の創出を行う。 ② 歩行者空間ネットワークを形成することにより、安全で快適な歩行者空間を確保する。 ③ 住民をはじめ多くの人が交流し、こころがふれあい、暮らしやすいと実感できるまちを目指す。 ④ 安全・安心で快適な市民生活を送ることができ、住み続けたいと思える居住環境の向上を図る。	まちの満足度	単位:	%		H 10		H 21		H 21	
	福祉施設の利用率	単位:	人/年		H 16		H 21		H 21	
	雨水排水能力	単位:	m ³ /sec		H 18		H 21		H 21	
					1.7		4.3		4.3	



まちの課題の変化	- 数値目標には達しなかったが、商店街におけるまちづくり会社等の活動、道路整備にあわせ街並み更新や集客施設の整備により、新たな人の流れが生じ、減少傾向が続いていた通りの歩行者数が増加している。商店街における賑わいの実現は課題として残っており、商店街の魅力を向上、集客機能の整備・強化、歩行者ネットワークの整備を進め、地域住民から高い評価が得られた。 - 道路整備と歩道や舗装の美観化などにより、安全・快適な歩行者ネットワーク整備が進み、地域住民から高い評価が得られた。 - 保健福祉センターに関する情報及びサービス提供の拠点が整備され、保健福祉サービスの充実等とあいまって、施設利用者数は大きく増加している。 - 浸水を引き起こす恐れが高い重点箇所について、関連事業とあわせて、浸水被害に対して安全で安心して暮らせるまちづくりが進んだ。しかし、雨水対策が必要な箇所が残されており、引き続き対策を実施していく必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	- 駅を挟んだ南北の歩行者空間ネットワークの充実を図るとともに、中央線とその周辺での歩行者空間ネットワーク整備を活かした街並み形成やイベント等の実施を促進する。 - 店舗の連携、まちづくり会社によるイベント実施、空き店舗活用など商店街の魅力を向上、地区内および周辺の集客機能の整備・強化、歩行者空間ネットワークの整備を促進する。 - により、通りの通行者数の増加を図り、賑わいを実現していく必要がある。 - 保健福祉センターの情報提供・サービスの拠点や交流の場としての機能を活かして、人材育成や市民・NPO等による保健福祉活動を進めていくための取組みを実施していく必要がある。 - 浸水を引き起こす恐れが高い重点箇所についての地先雨水整備は実施できたが、なお、雨水対策が必要な箇所は残されているため、引き続き、優先度の高い箇所から雨水整備事業を実施していく。 - 地域住民が参加した地道なまちづくり活動を促進し、まちの価値を高めるエリアマネジメントを進めていく。